

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1
授業科目	キャリアデザイン I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	面接の入退室および自己PRができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 面接の基本 2 入退室の仕方 3 スーツの着こなし、身嗜み確認 4 自己PR作成① 5 自己PR作成② 6 自己PR作成③ 7 面接質問項目① 8 面接質問項目② 9 面接質問項目③ 10 業界研究① 11 業界研究② 12 模擬面接練習① 13 模擬面接練習② 14 模擬面接練習③ 15 模擬面接試験
成績評価方法 (試験実施方法)	試験により評価する
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2
授業科目	キャリアデザインⅡ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 働くとは</li> <li>2 業界研究①</li> <li>3 業界研究②</li> <li>4 業界研究③</li> <li>5 志望動機の作り方①</li> <li>6 志望動機の作り方②</li> <li>7 志望動機の作り方③</li> <li>8 志望動機の作り方④</li> <li>9 志望動機の作り方⑤</li> <li>10 書類送付方法</li> <li>11 ビジネス電話</li> <li>12 ビジネスメール</li> <li>13 内定後学習①</li> <li>14 内定後学習②</li> <li>15 内定後学習③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出により評価する
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	3
授業科目	キャリアデザインⅢ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	職業を理解した仕事をするための心構え・準備内容を理解する
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	職業を理解した仕事をする意識付け及び自己表現ができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 社会人としての心構え 2 職業理解 3 自己分析① 4 自己分析② 5 自己PR作成① 6 自己PR作成② 7 作文・小論文① 8 作文・小論文② 9 業界研究① 10 業界研究② 11 質疑応答① 12 質疑応答② 13 自己表現演習① 14 自己表現演習② 15 自己表現演習③
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出により評価する
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	4
授業科目	診療情報管理実習 I
実務家教員授業	授業担当者：各医療機関における実習指導者 実務経験及び授業との関連性：患者及び医療スタッフとの接触を通じた医療現場の実態を体験する実践的な教育により、診療情報管理士の基本的態度や応対に必要な基本的知識及び技術を身につけさせる
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	病院にて医療事務員、診療情報管理士として必要な基礎知識を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	病院内で行う医療事務、診療情報管理士の職業内容を理解する
教科書	
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現場実習（院内オリエンテーション）①</li> <li>2 現場実習（院内オリエンテーション）②</li> <li>3 現場実習（初診受付）①</li> <li>4 現場実習（初診受付）②</li> <li>5 現場実習（初診受付）③</li> <li>6 現場実習（初診受付）④</li> <li>7 現場実習（初診受付）⑤</li> <li>8 現場実習（再診受付）①</li> <li>9 現場実習（再診受付）②</li> <li>10 現場実習（再診受付）③</li> <li>11 現場実習（再診受付）④</li> <li>12 現場実習（再診受付）⑤</li> <li>13 現場実習（カルテ管理）①</li> <li>14 現場実習（カルテ管理）②</li> <li>15 現場実習（カルテ管理）③</li> <li>16 現場実習（カルテ管理）④</li> <li>17 現場実習（カルテ管理）⑤</li> <li>18 現場実習（カルテ管理）⑥</li> <li>19 現場実習（カルテ管理）⑦</li> <li>20 現場実習（カルテ管理）⑧</li> <li>21 現場実習（診療情報管理室内業務）①</li> <li>22 現場実習（診療情報管理室内業務）②</li> <li>23 現場実習（診療情報管理室内業務）③</li> <li>24 現場実習（診療情報管理室内業務）④</li> <li>25 現場実習（診療情報管理室内業務）⑤</li> <li>26 現場実習（診療情報管理室内業務）⑥</li> <li>27 現場実習（診療情報管理室内業務）⑦</li> <li>28 現場実習（診療情報管理室内業務）⑧</li> <li>29 現場実習（診療情報管理室内業務）⑨</li> <li>30 現場実習（診療情報管理室内業務）⑩</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	施設評価と日誌、取り組む姿勢により評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	5	
授業科目	医療概論	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	医学と医療制度の成り立ちを知る	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	医療の社会的役割を理解する	
教科書	診療情報管理 I、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）	
特記		
授業計画	1	医療と医学①
	2	医療と医学②
	3	医療の倫理①
	4	医療の倫理②
	5	診療情報提供
	6	社会保障制度①
	7	社会保障制度②
	8	医療関連法規
	9	公衆衛生
	10	包括医療
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	6	
授業科目	人体構造・機能論	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	人体の基本的な仕組みや働きを理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	診療録と人体構造の知識を照らし合わせ理解する	
教科書	診療情報管理 I、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）	
特記		
授業計画	1	人体の仕組み：構造①
	2	人体の仕組み：構造②
	3	人体の仕組み：構造③
	4	人体の仕組み：構造④
	5	人体の仕組み：構造⑤
	6	人体の働き：機能①
	7	人体の働き：機能②
	8	人体の働き：機能③
	9	人体の働き：機能④
	10	人体の働き：機能⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	7
授業科目	臨床医学総論
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	先天性の疾病や損傷、中毒及びその他の外因による疾病について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	各種疾病の概要、検査方法を理解する
教科書	診療情報管理 I、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 健康と疾病の原因、病理的変化</li> <li>2 検査所見、治療の方針</li> <li>3 神経系、眼、耳、顔面及び頸部の先天奇形</li> <li>4 循環器系、呼吸器系、呼吸器系の先天奇形</li> <li>5 尿路系、筋骨格系、その他の先天奇形</li> <li>6 染色体異常</li> <li>7 頭部、頸部の損傷</li> <li>8 上肢、下肢の損傷</li> <li>9 薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒</li> <li>10 損傷、中毒およびその他の外因による影響の続発・後遺症</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
科目番号	8		
授業科目	臨床医学各論 I		
実務家教員授業	—		
	—		
学部・学科	医療福祉専攻科		
履修年次	1年次		
開講学期	通年		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	20時間		
授業コマ数	10コマ		
授業概要	感染症の原因となる細菌、ウイルスなどについて知識を修得し、各感染症の特徴、診断法等知識を深める		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	感染症患者の各種診療記録の内容が理解できる		
教科書	診療情報管理 I、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）		
特記			
授業計画	1	感染症および寄生虫症①	感染症総論 (1) 分類
	2	感染症および寄生虫症②	感染症総論 (2) 伝染性感染症と医療体制
	3	感染症および寄生虫症③	感染症総論 (3) 日和見感染症
	4	感染症および寄生虫症④	感染症総論 (4) 性感染症
	5	感染症および寄生虫症⑤	感染症各論 (1) 通常見られる感染症 1
	6	感染症および寄生虫症⑥	感染症各論 (2) 通常見られる感染症 2
	7	感染症および寄生虫症⑦	感染症各論 (3) 通常見られる感染症 3
	8	感染症および寄生虫症⑧	感染症各論 (4) 寄生虫疾患 1
	9	感染症および寄生虫症⑨	感染症各論 (5) 寄生虫疾患 2
	10	感染症および寄生虫症⑩	感染症各論 (6) 寄生虫疾患 3
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況		
備考			



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容																														
科目番号	9																														
授業科目	臨床医学各論Ⅱ																														
実務家教員授業	— —																														
学部・学科	医療福祉専攻科																														
履修年次	1年次																														
開講学期	通年																														
科目区分	選択																														
授業方法	講義																														
授業時間	20時間																														
授業コマ数	10コマ																														
授業概要	わが国における数異様な新生物の多彩な診断法、治療法を学ぶ																														
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																														
達成目標	適切なICD分類に結びつく基本的知識を修得する																														
教科書	診療情報管理Ⅰ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>新生物①</td> <td>新生物とは：その定義</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>新生物②</td> <td>新生物の種類：部位、症状等（1）</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>新生物③</td> <td>新生物の種類：部位、症状等（2）</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>新生物④</td> <td>新生物の種類：部位、症状等（3）</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>新生物⑤</td> <td>悪性新生物と良性新生物</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>新生物⑥</td> <td>検査方法、識別方法（1）</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>新生物⑦</td> <td>検査方法、識別方法（2）</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>新生物⑧</td> <td>検査方法、識別方法（3）</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>新生物⑨</td> <td>治療、臨床検査等（1）</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>新生物⑩</td> <td>治療、臨床検査等（2）</td> </tr> </tbody> </table>	1	新生物①	新生物とは：その定義	2	新生物②	新生物の種類：部位、症状等（1）	3	新生物③	新生物の種類：部位、症状等（2）	4	新生物④	新生物の種類：部位、症状等（3）	5	新生物⑤	悪性新生物と良性新生物	6	新生物⑥	検査方法、識別方法（1）	7	新生物⑦	検査方法、識別方法（2）	8	新生物⑧	検査方法、識別方法（3）	9	新生物⑨	治療、臨床検査等（1）	10	新生物⑩	治療、臨床検査等（2）
1	新生物①	新生物とは：その定義																													
2	新生物②	新生物の種類：部位、症状等（1）																													
3	新生物③	新生物の種類：部位、症状等（2）																													
4	新生物④	新生物の種類：部位、症状等（3）																													
5	新生物⑤	悪性新生物と良性新生物																													
6	新生物⑥	検査方法、識別方法（1）																													
7	新生物⑦	検査方法、識別方法（2）																													
8	新生物⑧	検査方法、識別方法（3）																													
9	新生物⑨	治療、臨床検査等（1）																													
10	新生物⑩	治療、臨床検査等（2）																													
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況																														
備考																															

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	10	
授業科目	臨床医学各論Ⅲ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	血液・代謝・内分泌等の障害による各疾病についてそれらの特徴・症状・治療法等を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	重要な全身疾患群の基本的知識を修得する	
教科書	診療情報管理Ⅰ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）	
特記		
授業計画	1	血液・代謝・内分泌等① 血液および造血器疾患（1）
	2	血液・代謝・内分泌等② 血液および造血器疾患（2）
	3	血液・代謝・内分泌等③ 膠原病・リウマチ性疾患（1）
	4	血液・代謝・内分泌等④ 膠原病・リウマチ性疾患（2）
	5	血液・代謝・内分泌等⑤ 代謝性疾患（1）
	6	血液・代謝・内分泌等⑥ 代謝性疾患（2）
	7	血液・代謝・内分泌等⑦ 代謝性疾患（3）
	8	血液・代謝・内分泌等⑧ 内分泌疾患（1）
	9	血液・代謝・内分泌等⑨ 内分泌疾患（2）
	10	血液・代謝・内分泌等⑩ 内分泌疾患（3）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	11	
授業科目	臨床医学各論Ⅳ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	部位別、臓器別疾病について、その特徴、症状、治療法等の概要を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	各種診療記録の記載などを理解し、適切な病歴診断名につなげる知識を修得する	
教科書	診療情報管理Ⅰ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）	
特記		
授業計画	1 精神・脳神経・感覚器等①	中枢神経と末梢神経（1）
	2 精神・脳神経・感覚器等②	中枢神経と末梢神経（2）
	3 精神・脳神経・感覚器等③	脳疾患・脳血管疾患（1）
	4 精神・脳神経・感覚器等④	脳疾患・脳血管疾患（2）
	5 精神・脳神経・感覚器等⑤	感覚器疾患（1）
	6 精神・脳神経・感覚器等⑥	感覚器疾患（2）
	7 精神・脳神経・感覚器等⑦	感覚器疾患（3）
	8 精神・脳神経・感覚器等⑧	精神および行動の障害（1）
	9 精神・脳神経・感覚器等⑨	精神および行動の障害（2）
	10 精神・脳神経・感覚器等⑩	精神および行動の障害（3）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	12
授業科目	臨床医学各論Ⅴ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	循環器・呼吸器系の疾病について、その特徴、症状、治療法等の概要を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	各種診療記録の記載などを理解し、適切な病歴診断名につなげる知識を修得する
教科書	診療情報管理Ⅰ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	1 循環器疾患① 心臓疾患：先天性心疾患、冠動脈疾患、不整脈、特発性心筋症（1） 2 循環器疾患② 心臓疾患：先天性心疾患、冠動脈疾患、不整脈、特発性心筋症（2） 3 循環器疾患③ 血圧異常：本態性高血圧、二次性高血圧 4 循環器疾患④ 血管疾患：脳血管疾患、末梢動脈疾患、静脈疾患、肺動脈疾患（1） 5 循環器疾患⑤ 血管疾患：脳血管疾患、末梢動脈疾患、静脈疾患、肺動脈疾患（2） 6 呼吸器疾患① 感染症（1） 7 呼吸器疾患② 感染症（2） 8 呼吸器疾患③ 呼吸不全（1） 9 呼吸器疾患④ 呼吸不全（2） 10 呼吸器疾患⑤ 換気障害
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	13	
授業科目	臨床医学各論VI	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	消化器系・泌尿器系の疾病について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	消化器系・泌尿器系の疾病の特徴や治療法等を理解する	
教科書	診療情報管理 I、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）	
特記		
授業計画	1	消化管疾患①
	2	消化管疾患②
	3	消化管疾患③
	4	肝臓・胆嚢・膵臓疾患①
	5	肝臓・胆嚢・膵臓疾患②
	6	肝臓・胆嚢・膵臓疾患③
	7	腎臓疾患①
	8	腎臓疾患②
	9	泌尿器系疾患①
	10	泌尿器系疾患②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	14
授業科目	臨床医学各論Ⅶ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	周産期疾病について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	周産期疾病の特徴や治療法等を理解する
教科書	診療情報管理Ⅰ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	1 妊婦と出産① 2 妊婦と出産② 3 正常分娩と異常分娩① 4 正常分娩と異常分娩② 5 正常分娩と異常分娩③ 6 妊娠、分娩、産褥に関連する疾患① 7 妊娠、分娩、産褥に関連する疾患② 8 妊娠、分娩、産褥に関連する疾患③ 9 妊娠、分娩、産褥に関連する疾患④ 10 新生児特有の疾患①
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	15	
授業科目	臨床医学各論Ⅷ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	皮膚・筋骨格系疾病について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	皮膚・筋骨格系疾病の特徴や治療法等を理解する	
教科書	診療情報管理Ⅰ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）	
特記		
授業計画	1	運動機能①
	2	運動機能②
	3	筋肉の疾患①
	4	筋肉の疾患②
	5	骨の疾患①
	6	骨の疾患②
	7	骨の疾患③
	8	皮膚疾患①
	9	皮膚疾患②
	10	皮膚疾患③
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	16
授業科目	医学・医療用語
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	医学用語について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	医学用語を理解し、専門分野でのコミュニケーションに対応する
教科書	診療情報管理Ⅱ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	1 医学用語の基礎① 2 医学用語の基礎② 3 解剖・機能の用語① 4 解剖・機能の用語② 5 症状・症候の用語① 6 症状・症候の用語② 7 症状・症候の用語③ 8 検査の用語 9 診断の用語 10 治療の用語
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	17	
授業科目	医療管理総論	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	「人的資源」「物的資源」「財的資源」を具体的に理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	医療の実務に対応するための知識を充実させる	
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）	
特記		
授業計画	1	医療管理総論① 診療情報管理と診療情報管理士
	2	医療管理総論② 医療資源
	3	医療管理総論③ 日本の医療制度（1）医療保障
	4	医療管理総論④ 日本の医療制度（2）医療制度の特徴と成り立ち
	5	医療管理総論⑤ 日本の医療制度（3）諸外国の医療制度、国民医療費の現状と将来
	6	医療管理総論⑥ 医療の需要と供給
	7	医療管理総論⑦ 地域医療（医療供給体制）
	8	医療管理総論⑧ 医療関連の法規定（1）
	9	医療管理総論⑨ 医療関連の法規定（2）
	10	医療管理総論⑩ 医療関連の法規定（3）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	18
授業科目	医療管理各論 I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	病院を的確に維持、運営していくうえで重要な項目について基礎的な知識を身につける
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	さまざまな医療専門職を有効に結びつけるために医療管理の必要性を理解する
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 病院の経営管理① 病院経営管理</li> <li>2 病院の経営管理② 組織と機能・管理と組織</li> <li>3 病院の経営管理③ 財務・経営・人事・労務・施設管理</li> <li>4 医療管理① 医療・診療・看護部門</li> <li>5 医療管理② 教育研究・診療情報管理・事務部門</li> <li>6 医療管理③ 施設・機器維持管理</li> <li>7 医療管理④ 労働安全衛生・環境衛生管理部門</li> <li>8 医療管理⑤ ハウスキーピング部門</li> <li>9 チーム医療① チーム医療とは</li> <li>10 チーム医療② チーム医療の主な活動・チーム医療の推進</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容																														
科目番号	19																														
授業科目	医療管理各論Ⅱ																														
実務家教員授業	— —																														
学部・学科	医療福祉専攻科																														
履修年次	1年次																														
開講学期	通年																														
科目区分	選択																														
授業方法	講義																														
授業時間	20時間																														
授業コマ数	10コマ																														
授業概要	診療情報管理士として修得すべき基本的かつ実務的な医療保険制度・介護保険制度について知識を深める																														
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																														
達成目標	診療記録を基にした診療情報管理から診療報酬請求に関する領域まで、医事業務に関する知識を習得する																														
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>医療保険制度①</td> <td>医療保険の種類と保険給付・保険給付外</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>医療保険制度②</td> <td>診療報酬制度</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>医療保険制度③</td> <td>保険診療と医療費の支払いの仕組み</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>医療保険制度④</td> <td>診療報酬の請求について</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>わが国の診断群分類①</td> <td>ケースミックス区分法と診断群分類</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>わが国の診断群分類②</td> <td>診断群分類誕生の背景</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>わが国の診断群分類③</td> <td>D P C</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>わが国の診断群分類④</td> <td>D P Cと包括評価</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>介護保険制度の概要①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>介護保険制度の概要②</td> <td></td> </tr> </table>	1	医療保険制度①	医療保険の種類と保険給付・保険給付外	2	医療保険制度②	診療報酬制度	3	医療保険制度③	保険診療と医療費の支払いの仕組み	4	医療保険制度④	診療報酬の請求について	5	わが国の診断群分類①	ケースミックス区分法と診断群分類	6	わが国の診断群分類②	診断群分類誕生の背景	7	わが国の診断群分類③	D P C	8	わが国の診断群分類④	D P Cと包括評価	9	介護保険制度の概要①		10	介護保険制度の概要②	
1	医療保険制度①	医療保険の種類と保険給付・保険給付外																													
2	医療保険制度②	診療報酬制度																													
3	医療保険制度③	保険診療と医療費の支払いの仕組み																													
4	医療保険制度④	診療報酬の請求について																													
5	わが国の診断群分類①	ケースミックス区分法と診断群分類																													
6	わが国の診断群分類②	診断群分類誕生の背景																													
7	わが国の診断群分類③	D P C																													
8	わが国の診断群分類④	D P Cと包括評価																													
9	介護保険制度の概要①																														
10	介護保険制度の概要②																														
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況																														
備考																															

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	20
授業科目	医療管理各論Ⅲ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	医療機関がとっている医療安全対策の基本要項を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	実際に現場で活動するための知識を身につける
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	1 安全管理① 医療安全概論 2 安全管理② 医療におけるリスクマネジメント 3 安全管理③ ヒューマンエラー 4 安全管理④ 医療事故と医療過誤、医事紛争 5 医療の質管理① 医療の質と保証・チーム医療における診療情報共有 6 医療の質管理② 医療のマネジメントシステム・医療の質の評価と公表 7 診療情報管理における診療報酬請求データの活用① 医療マーケティング 8 診療情報管理における診療報酬請求データの活用② 診療情報管理におけるデータの活用 9 診療情報管理における診療報酬請求データの活用③ 電子カルテと医事会計データ 10 診療情報管理における診療報酬請求データの活用④ 診療情報管理データと医事会計データ
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	21
授業科目	保健医療情報学
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	医療情報学について学び、ITを活用した診療情報がいかに医療の質に貢献しているかを知る
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療データ・診療情報を有効かつ的確に処理できる能力を身に付ける
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療情報学とは</li> <li>2 医療情報の特徴と種類</li> <li>3 情報とシステム</li> <li>4 ITの基礎</li> <li>5 行政の動向に見る医療情報化の流れ</li> <li>6 医療情報システム</li> <li>7 医療情報の標準化の動向</li> <li>8 意思決定支援</li> <li>9 医療データの評価</li> <li>10 情報セキュリティ</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	22
授業科目	医療統計 I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	診療情報の収取、整理、集計、分析を行い判断を下す資料作成の重要性を知る
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療情報を活用する手段として、統計的な考え方、データ処理の基礎を身につける
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 統計的方法</li> <li>2 データの要約</li> <li>3 確立と確率分布・正規分布</li> <li>4 2つの変数の相関</li> <li>5 統計学的推測の基礎① 母集団と標本の考え方・母集団の特徴に関する記述</li> <li>6 統計学的推測の基礎② 正規分布・母平均の区間推定</li> <li>7 統計的仮設検定</li> <li>8 仮設検定にともなう2種類の誤り</li> <li>9 よく使う検定手法</li> <li>10 2つの量的変数の関係</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容																														
科目番号	23																														
授業科目	医療統計Ⅱ																														
実務家教員授業	— —																														
学部・学科	医療福祉専攻科																														
履修年次	1年次																														
開講学期	通年																														
科目区分	選択																														
授業方法	講義																														
授業時間	20時間																														
授業コマ数	10コマ																														
授業概要	グラフ表現や一般的に用いられる病院統計、疾病統計について学ぶ																														
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																														
達成目標	臨床研究の主な手法と研究を行うにあたっての倫理的な側面を学ぶ																														
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>データのグラフ表現①</td> <td>データの視覚化（1）</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>データのグラフ表現②</td> <td>データの視覚化（2）</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>データのグラフ表現③</td> <td>各種のグラフとその用途（1）</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>データのグラフ表現④</td> <td>各種のグラフとその用途（2）</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>病院の統計資料①</td> <td>病院統計の作成とその意義</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>病院の統計資料②</td> <td>主な統計調査と評価指標</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>病院の統計資料③</td> <td>主な医療評価指標</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>病院の統計資料④</td> <td>経営管理指標</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>臨床研究の主な手法と医学系研究に関する倫理指針①</td> <td>コホート研究と症例対照研究</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>臨床研究の主な手法と医学系研究に関する倫理指針②</td> <td>人を対象とする医学系研究に関する倫理指針</td> </tr> </tbody> </table>	1	データのグラフ表現①	データの視覚化（1）	2	データのグラフ表現②	データの視覚化（2）	3	データのグラフ表現③	各種のグラフとその用途（1）	4	データのグラフ表現④	各種のグラフとその用途（2）	5	病院の統計資料①	病院統計の作成とその意義	6	病院の統計資料②	主な統計調査と評価指標	7	病院の統計資料③	主な医療評価指標	8	病院の統計資料④	経営管理指標	9	臨床研究の主な手法と医学系研究に関する倫理指針①	コホート研究と症例対照研究	10	臨床研究の主な手法と医学系研究に関する倫理指針②	人を対象とする医学系研究に関する倫理指針
1	データのグラフ表現①	データの視覚化（1）																													
2	データのグラフ表現②	データの視覚化（2）																													
3	データのグラフ表現③	各種のグラフとその用途（1）																													
4	データのグラフ表現④	各種のグラフとその用途（2）																													
5	病院の統計資料①	病院統計の作成とその意義																													
6	病院の統計資料②	主な統計調査と評価指標																													
7	病院の統計資料③	主な医療評価指標																													
8	病院の統計資料④	経営管理指標																													
9	臨床研究の主な手法と医学系研究に関する倫理指針①	コホート研究と症例対照研究																													
10	臨床研究の主な手法と医学系研究に関する倫理指針②	人を対象とする医学系研究に関する倫理指針																													
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況																														
備考																															

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	24
授業科目	診療情報管理 I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	診療情報管理の意義や役割について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療情報管理士に必要な法令や諸規則の基本事項についての知識を習得する
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	1 診療情報管理の意義と役割① 用語の定義・診療記録の価値 2 診療情報管理の意義と役割② 診療情報管理の役割 3 診療情報管理の歴史 4 診療情報管理と法規等① 診療記録の記載と保存 5 診療情報管理と法規等② 電子化等に関する法規 6 診療情報管理と法規等③ 医療事故にともなう法的責任 7 診療情報管理と法規等④ 診療情報の守秘に関する法規、 個人情報の保護に関する法規 8 診療情報管理と法規等⑤ 個人情報の取り扱い、診療情報の提供等 9 診療記録の記載方式 10 診療情報の記載
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	25
授業科目	診療情報管理Ⅱ
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	診療情報管理士の実務について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療情報管理士の基本的な在り方、および実施方法についての知識を習得する
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 診療情報管理士について</li> <li>2 診療情報管理士に求められる資質</li> <li>3 診療情報管理士の基本業務</li> <li>4 個人情報保護の視点からの保管管理</li> <li>5 紙カルテ運用における診療情報管理</li> <li>6 電子カルテ運用における診療情報管理①</li> <li>7 電子カルテ運用における診療情報管理②</li> <li>8 診療情報の提供に係る業務</li> <li>9 診療情報管理士による改善への取り組み</li> <li>10 診療情報管理士の活動組織</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	26	
授業科目	診療情報管理Ⅲ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	DPC/PDPS・医師事務作業補助者・がん登録の実務について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	診療情報管理士として学んだことを生かす応用的な業務の知識を深める	
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）	
特記		
授業計画	1	DPC制度と実務① DPCと診療情報管理士の関わり
	2	DPC制度と実務② 影響調査と診療情報管理士
	3	DPC制度と実務③ 病院情報の公表と診療情報管理士
	4	DPC制度と実務④ データ精度と診療情報管理士
	5	DPC制度と実務⑤ DPCデータの活用
	6	医師事務作業補助者の業務① 医師事務作業補助者の業務と体制
	7	医師事務作業補助者の業務② 医師事務作業補助者と診療情報管理士の関わり
	8	がん登録の実務について① わが国のがん対策とがん登録
	9	がん登録の実務について② がん登録
	10	レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）について
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	27
授業科目	国際統計分類 I
実務家教員授業	関川 千鶴子
	実務経験及び授業との関連性：診療情報管理士の実務経験のある教員より、国際疾病分類および主要病態のコーディング等の講義を行い、業務に必要な基本的知識を身につけさせる
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	診療情報管理の意義や役割について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療情報管理士に必要な法令や諸規則の基本事項についての知識を習得する
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 国際疾病分類論① わが国の人口動態統計</li> <li>2 国際疾病分類論② 国際疾病分類の歴史</li> <li>3 国際疾病分類論③ 国際疾病分類の現状</li> <li>4 国際疾病分類論④ 国際疾病分類の構造</li> <li>5 国際統計分類ファミリー論① 国際統計分類ファミリーの概念と構想</li> <li>6 国際統計分類ファミリー論② 国際統計分類ファミリーに含まれる分類 (1)</li> <li>7 国際統計分類ファミリー論③ 国際統計分類ファミリーに含まれる分類 (2)</li> <li>8 国際疾病分類の利用① 原死因選択ルール</li> <li>9 国際疾病分類の利用② 主要病態のコーディングと再選択ルール</li> <li>10 国際疾病分類の利用③ 診断群分類における国際疾病分類の利用</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	28
授業科目	国際統計分類Ⅱ
実務家教員授業	関川 千鶴子
	実務経験及び授業との関連性：診療情報管理士の実務経験のある教員より、ICD-10および主要病態のコーディング等の講義を行い、業務に必要な基本的知識を身につけさせる
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	診療情報管理の意義や役割について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療情報管理士に必要な法令や諸規則の基本事項についての知識を習得する
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 国際疾病分類の基本① コーディングをはじめるにあたって</li> <li>2 国際疾病分類の基本② ICD-10 準拠の概説</li> <li>3 国際疾病分類の基本③ (ICD) 編さんの基準とその特徴</li> <li>4 国際疾病分類の基本④ 内容例示表と索引表の使用方法</li> <li>5 国際統計分類の基本⑤ 複数病態分類・複合病態分類及び二重分類 (1)</li> <li>6 国際統計分類の基本⑥ 複数病態分類・複合病態分類及び二重分類 (2)</li> <li>7 国際統計分類の基本⑦ 内容例示表・索引表で用いられている表示記号と符合</li> <li>8 国際疾病分類の基本⑧ 用語の定義及び傷病名の構成</li> <li>9 国際疾病分類の基本⑨ 傷病名のコード索引方法</li> <li>10 国際疾病分類の基本⑩ コーディング支援ソフトウェアの利用</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	29
授業科目	国際統計分類Ⅲ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	診療情報管理の意義や役割について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療情報管理士に必要な法令や諸規則の基本事項についての知識を習得する
教科書	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理士教育問題集（一般社団法人日本病院会）
特記	
授業計画	1 疾病分類体系の理解① 感染症・寄生虫症・新生物（腫瘍） 2 疾病分類体系の理解② 血液、造血器の疾患・免疫機構の障害 3 疾病分類体系の理解③ 内分泌、栄養及び代謝・精神、行動の障害・神経系の疾患 4 疾病分類体系の理解④ 眼、付属器・耳、乳様突起・皮膚、皮下組織の疾患 5 疾病分類体系の理解⑤ 循環器・呼吸器・消化器、腎尿路生殖器系の疾患 6 疾病分類体系の理解⑥ 先天奇形、変形、染色体異常・異常臨床所見 7 疾病分類体系の理解⑦ 妊娠、分娩、産褥、周産期の疾患 8 疾病分類体系の理解⑧ 損傷・中毒・筋骨格系・結合組織の疾患 9 疾病分類体系の理解⑨ 死亡の外因、原死因コーディング 10 疾病分類体系の理解⑩ 退院時サマリ
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	30
授業科目	診療情報管理士対策演習 I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	120時間
授業コマ数	60回
授業概要	各章のポイントを講義形式で復習する
授業の進め方	テキストによる講義
達成目標	身体の構造や臓器の仕組み、疾病の理解を深める
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 基礎科目(1~6章) 総復習講義 1 2 基礎科目(1~6章) 総復習講義 2 3 基礎科目(1~6章) 総復習講義 3 4 基礎科目(1~6章) 総復習講義 4 5 基礎科目(1~6章) 総復習講義 5 6 基礎科目(1~6章) 総復習講義 6 7 基礎科目(1~6章) 総復習講義 7 8 基礎科目(1~6章) 総復習講義 8 9 基礎科目(1~6章) 総復習講義 9 10 基礎科目(1~6章) 総復習講義 10 11 基礎科目(1~6章) 総復習講義 11 12 基礎科目(1~6章) 総復習講義 12 13 基礎科目(1~6章) 総復習講義 13 14 基礎科目(1~6章) 総復習講義 14 15 基礎科目(1~6章) 総復習講義 15 16 基礎科目(1~6章) 総復習講義 16 17 基礎科目(1~6章) 総復習講義 17 18 基礎科目(1~6章) 総復習講義 18 19 基礎科目(1~6章) 総復習講義 19 20 基礎科目(1~6章) 総復習講義 20 21 基礎科目(1~6章) 総復習講義 21 22 基礎科目(1~6章) 総復習講義 22 23 基礎科目(1~6章) 総復習講義 23 24 基礎科目(1~6章) 総復習講義 24 25 基礎科目(1~6章) 総復習講義 25 26 基礎科目(1~6章) 総復習講義 26 27 基礎科目(1~6章) 総復習講義 27 28 基礎科目(1~6章) 総復習講義 28 29 基礎科目(1~6章) 総復習講義 29 30 基礎科目(1~6章) 総復習講義 30 31 基礎科目(1~6章) 総復習講義 31 32 基礎科目(1~6章) 総復習講義 32 33 基礎科目(1~6章) 総復習講義 33 34 基礎科目(1~6章) 総復習講義 34 35 基礎科目(1~6章) 総復習講義 35 36 基礎科目(1~6章) 総復習講義 36 37 基礎科目(1~6章) 総復習講義 37 38 基礎科目(1~6章) 総復習講義 38 39 基礎科目(1~6章) 総復習講義 39 40 基礎科目(1~6章) 総復習講義 40 41 基礎科目(1~6章) 総復習講義 41 42 基礎科目(1~6章) 総復習講義 42 43 基礎科目(1~6章) 総復習講義 43 44 基礎科目(1~6章) 総復習講義 44 45 基礎科目(1~6章) 総復習講義 45 46 基礎科目(1~6章) 総復習講義 46 47 基礎科目(1~6章) 総復習講義 47 48 基礎科目(1~6章) 総復習講義 48 49 基礎科目(1~6章) 総復習講義 49 50 基礎科目(1~6章) 総復習講義 50 51 基礎科目(1~6章) 総復習講義 51 52 基礎科目(1~6章) 総復習講義 52 53 基礎科目(1~6章) 総復習講義 53 54 基礎科目(1~6章) 総復習講義 54 55 基礎科目(1~6章) 総復習講義 55 56 基礎科目(1~6章) 総復習講義 56 57 基礎科目(1~6章) 総復習講義 57 58 基礎科目(1~6章) 総復習講義 58 59 基礎科目(1~6章) 総復習講義 59 60 基礎科目(1~6章) 総復習テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	31
授業科目	診療情報管理士対策演習Ⅱ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	120時間
授業コマ数	60回
授業概要	各章のポイントを講義形式で復習する
授業の進め方	テキストによる講義
達成目標	身体の構造や臓器の仕組み、疾病の理解を深める
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 1 2 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 2 3 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 3 4 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 4 5 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 5 6 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 6 7 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 7 8 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 8 9 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 9 10 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 10 11 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 11 12 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 12 13 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 13 14 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 14 15 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 15 16 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 16 17 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 17 18 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 18 19 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 19 20 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 20 21 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 21 22 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 22 23 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 23 24 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 24 25 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 25 26 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 26 27 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 27 28 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 28 29 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 29 30 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 30 31 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 31 32 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 32 33 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 33 34 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 34 35 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 35 36 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 36 37 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 37 38 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 38 39 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 39 40 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 40 41 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 41 42 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 42 43 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 43 44 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 44 45 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 45 46 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 46 47 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 47 48 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 48 49 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 49 50 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 50 51 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 51 52 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 52 53 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 53 54 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 54 55 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 55 56 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 56 57 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 57 58 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 58 59 基礎科目 (7~12章) 総復習講義 59 60 基礎科目 (7~12章) 総復習テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	32	
授業科目	診療情報管理士対策演習Ⅲ	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45回	
授業概要	診療情報管理の意義や役割について学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	診療情報管理士に必要な法令や諸規則の基本事項についての知識を習得する	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	総合演習 1
	2	総合演習 2
	3	総合演習 3
	4	総合演習 4
	5	総合演習 5
	6	総合演習 6
	7	総合演習 7
	8	総合演習 8
	9	総合演習 9
	10	総合演習 10
	11	総合演習 11
	12	総合演習 12
	13	総合演習 13
	14	総合演習 14
	15	総合演習 15
	16	総合演習 16
	17	総合演習 17
	18	総合演習 18
	19	総合演習 19
	20	総合演習 20
	21	総合演習 21
	22	総合演習 22
	23	総合演習 23
	24	総合演習 24
	25	総合演習 25
	26	総合演習 26
	27	総合演習 27
	28	総合演習 28
	29	総合演習 29
	30	総合演習 30
	31	総合演習 31
	32	総合演習 32
	33	総合演習 33
	34	総合演習 34
	35	総合演習 35
	36	総合演習 36
	37	総合演習 37
	38	総合演習 38
	39	総合演習 39
	40	総合演習 40
	41	総合演習 41
	42	総合演習 42
	43	総合演習 43
	44	総合演習 44
	45	総合演習 45
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点	
備考		



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	33	
授業科目	診療情報管理士対策演習Ⅳ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30回	
授業概要	診療情報管理の意義や役割について学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	診療情報管理士に必要な法令や諸規則の基本事項についての知識を習得する	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	一問一答演習(専門科目) 1
	2	一問一答演習(専門科目) 2
	3	一問一答演習(専門科目) 3
	4	一問一答演習(専門科目) 4
	5	一問一答演習(専門科目) 5
	6	一問一答演習(専門科目) 6
	7	一問一答演習(専門科目) 7
	8	一問一答演習(専門科目) 8
	9	一問一答演習(専門科目) 9
	10	一問一答演習(専門科目) 10
	11	一問一答演習(専門科目) 11
	12	一問一答演習(専門科目) 12
	13	一問一答演習(専門科目) 13
	14	一問一答演習(専門科目) 14
	15	一問一答演習(専門科目) 15
	16	一問一答演習(専門科目) 16
	17	一問一答演習(専門科目) 17
	18	一問一答演習(専門科目) 18
	19	一問一答演習(専門科目) 19
	20	一問一答演習(専門科目) 20
	21	一問一答演習(専門科目) 21
	22	一問一答演習(専門科目) 22
	23	一問一答演習(専門科目) 23
	24	一問一答演習(専門科目) 24
	25	一問一答演習(専門科目) 25
	26	一問一答演習(専門科目) 26
	27	一問一答演習(専門科目) 27
	28	一問一答演習(専門科目) 28
	29	一問一答演習(専門科目) 29
	30	一問一答演習(専門科目) 30
	成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	34
授業科目	診療情報管理士対策演習V
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30回
授業概要	診療情報管理の意義や役割について学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	診療情報管理士に必要な法令や諸規則の基本事項についての知識を習得する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 確認テスト(基礎科目) 1 2 確認テスト(基礎科目) 2 3 確認テスト(基礎科目) 3 4 確認テスト(基礎科目) 4 5 確認テスト(基礎科目) 5 6 確認テスト(基礎科目) 6 7 確認テスト(基礎科目) 7 8 確認テスト(基礎科目) 8 9 確認テスト(基礎科目) 9 10 確認テスト(基礎科目) 10 11 確認テスト(基礎科目) 11 12 確認テスト(基礎科目) 12 13 確認テスト(基礎科目) 13 14 確認テスト(基礎科目) 14 15 確認テスト(基礎科目) 15 16 確認テスト(基礎科目) 16 17 確認テスト(基礎科目) 17 18 確認テスト(基礎科目) 18 19 確認テスト(基礎科目) 19 20 確認テスト(基礎科目) 20 21 確認テスト(基礎科目) 21 22 確認テスト(基礎科目) 22 23 確認テスト(基礎科目) 23 24 確認テスト(基礎科目) 24 25 確認テスト(基礎科目) 25 26 確認テスト(基礎科目) 26 27 確認テスト(基礎科目) 27 28 確認テスト(基礎科目) 28 29 確認テスト(基礎科目) 29 30 確認テスト(基礎科目) 30
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	35
授業科目	診療情報管理士対策演習VI
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30回
授業概要	診療情報管理の意義や役割について学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	診療情報管理士に必要な法令や諸規則の基本事項についての知識を習得する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 確認テスト(専門科目) 1 2 確認テスト(専門科目) 2 3 確認テスト(専門科目) 3 4 確認テスト(専門科目) 4 5 確認テスト(専門科目) 5 6 確認テスト(専門科目) 6 7 確認テスト(専門科目) 7 8 確認テスト(専門科目) 8 9 確認テスト(専門科目) 9 10 確認テスト(専門科目) 10 11 確認テスト(専門科目) 11 12 確認テスト(専門科目) 12 13 確認テスト(専門科目) 13 14 確認テスト(専門科目) 14 15 確認テスト(専門科目) 15 16 確認テスト(専門科目) 16 17 確認テスト(専門科目) 17 18 確認テスト(専門科目) 18 19 確認テスト(専門科目) 19 20 確認テスト(専門科目) 20 21 確認テスト(専門科目) 21 22 確認テスト(専門科目) 22 23 確認テスト(専門科目) 23 24 確認テスト(専門科目) 24 25 確認テスト(専門科目) 25 26 確認テスト(専門科目) 26 27 確認テスト(専門科目) 27 28 確認テスト(専門科目) 28 29 確認テスト(専門科目) 29 30 確認テスト(専門科目) 30
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	36	
授業科目	診療情報管理士対策演習Ⅶ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15回	
授業概要	診療情報管理の意義や役割について学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	診療情報管理士に必要な法令や諸規則の基本事項についての知識を習得する	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	直前演習（総合分野）1
	2	直前演習（総合分野）2
	3	直前演習（総合分野）3
	4	直前演習（総合分野）4
	5	直前演習（総合分野）5
	6	直前演習（総合分野）6
	7	直前演習（総合分野）7
	8	直前演習（総合分野）8
	9	直前演習（総合分野）9
	10	直前演習（総合分野）10
	11	直前演習（総合分野）11
	12	直前演習（総合分野）12
	13	直前演習（総合分野）13
	14	直前演習（総合分野）14
	15	直前演習（総合分野）15
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	37	
授業科目	診療情報管理士対策演習Ⅷ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30回	
授業概要	診療情報管理の意義や役割について学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	診療情報管理士に必要な法令や諸規則の基本事項についての知識を習得する	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	一問一答演習(基礎科目) 1
	2	一問一答演習(基礎科目) 2
	3	一問一答演習(基礎科目) 3
	4	一問一答演習(基礎科目) 4
	5	一問一答演習(基礎科目) 5
	6	一問一答演習(基礎科目) 6
	7	一問一答演習(基礎科目) 7
	8	一問一答演習(基礎科目) 8
	9	一問一答演習(基礎科目) 9
	10	一問一答演習(基礎科目) 10
	11	一問一答演習(基礎科目) 11
	12	一問一答演習(基礎科目) 12
	13	一問一答演習(基礎科目) 13
	14	一問一答演習(基礎科目) 14
	15	一問一答演習(基礎科目) 15
	16	一問一答演習(基礎科目) 16
	17	一問一答演習(基礎科目) 17
	18	一問一答演習(基礎科目) 18
	19	一問一答演習(基礎科目) 19
	20	一問一答演習(基礎科目) 20
	21	一問一答演習(基礎科目) 21
	22	一問一答演習(基礎科目) 22
	23	一問一答演習(基礎科目) 23
	24	一問一答演習(基礎科目) 24
	25	一問一答演習(基礎科目) 25
	26	一問一答演習(基礎科目) 26
	27	一問一答演習(基礎科目) 27
	28	一問一答演習(基礎科目) 28
	29	一問一答演習(基礎科目) 29
	30	一問一答演習(基礎科目) 30
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	38	
授業科目	Excel基礎	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する	
教科書	テキスト	
特記		
授業計画	1	ワークシートやブックの作成と管理①
	2	ワークシートやブックの作成と管理②
	3	セルやセル範囲のデータの管理①
	4	セルやセル範囲のデータの管理②
	5	テーブルの作成①
	6	テーブルの作成②
	7	テーブルの作成③
	8	関数を使用するデータの集計①
	9	関数を使用するデータの集計②
	10	関数を使用するデータの集計③
	11	関数を使用する条件付き計算①
	12	関数を使用する条件付き計算②
	13	関数を使用する条件付き計算③
	14	関数を使用した文字列の整形や変更①
	15	関数を使用した文字列の整形や変更②
	16	関数を使用した文字列の整形や変更③
	17	グラフの作成①
	18	グラフの作成②
	19	グラフの作成③
	20	グラフの書式設定①
	21	グラフの書式設定②
	22	グラフの書式設定③
	23	グラフの書式設定④
	24	グラフの書式設定⑤
	25	オブジェクトの挿入や書式設定①
	26	オブジェクトの挿入や書式設定②
	27	オブジェクトの挿入や書式設定③
	28	オブジェクトの挿入や書式設定④
	29	オブジェクトの挿入や書式設定⑤
	30	オブジェクトの挿入や書式設定⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	39
授業科目	Excel応用
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	MOS Excel試験に合格するために必要な操作に関する総合的な知識を身につけるための演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	Excelの主な機能を利用して、複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱うことができる
教科書	テキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ワークシートやブックの作成と管理</li> <li>2 セルやセル範囲のデータの管理</li> <li>3 テーブルの作成①</li> <li>4 テーブルの作成②</li> <li>5 関数を使用してのデータ集計①</li> <li>6 関数を使用してのデータ集計②</li> <li>7 関数を使用しての条件付き計算①</li> <li>8 関数を使用しての条件付き計算②</li> <li>9 関数を使用しての条件付き計算③</li> <li>10 関数を使用した文字列の整形や変更①</li> <li>11 関数を使用した文字列の整形や変更②</li> <li>12 グラフの作成①</li> <li>13 グラフの作成②</li> <li>14 グラフの書式設定</li> <li>15 オブジェクトの挿入や書式設定</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	40	
授業科目	Word基礎	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける	
教科書	テキスト	
特記		
授業計画	1	文章の作成①
	2	文章の作成②
	3	文章内の移動①
	4	文章内の移動②
	5	文章の書式設定①
	6	文章の書式設定②
	7	文章の書式設定③
	8	文章の書式設定④
	9	オプションの設定、表示のカスタマイズ①
	10	オプションの設定、表示のカスタマイズ②
	11	オプションの設定、表示のカスタマイズ③
	12	オプションの設定、表示のカスタマイズ④
	13	文章の印刷、保存①
	14	文章の印刷、保存②
	15	文章の印刷、保存③
	16	文章の印刷、保存④
	17	文字列・段落の挿入①
	18	文字列・段落の挿入②
	19	文字列・段落の挿入③
	20	文字列・段落の挿入④
	21	文字列・段落の書式設定①
	22	文字列・段落の書式設定②
	23	文字列・段落の書式設定③
	24	文字列・段落の書式設定④
	25	文字列・段落の書式設定⑤
	26	文字列・段落の並び替え、グループ化①
	27	文字列・段落の並び替え、グループ化②
	28	文字列・段落の並び替え、グループ化③
	29	文字列・段落の並び替え、グループ化④
	30	文字列・段落の並び替え、グループ化⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	41
授業科目	Word応用
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する
教科書	テキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 表の作成</li> <li>2 表の変更①</li> <li>3 表の変更②</li> <li>4 リストの作成、変更①</li> <li>5 リストの作成、変更②</li> <li>6 参照のための情報・記号の作成、管理①</li> <li>7 参照のための情報・記号の作成、管理②</li> <li>8 標準の参考資料作成、管理①</li> <li>9 標準の参考資料作成、管理②</li> <li>10 グラフィック要素の挿入①</li> <li>11 グラフィック要素の挿入②</li> <li>12 グラフィック要素の書式設定①</li> <li>13 グラフィック要素の書式設定②</li> <li>14 SmartArtの挿入、書式設定①</li> <li>15 SmartArtの挿入、書式設定②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	42	
授業科目	Power Point基礎	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける	
教科書	テキスト	
特記		
授業計画	1	プレゼンテーションの作成①
	2	プレゼンテーションの作成②
	3	スライドの挿入、書式設定①
	4	スライドの挿入、書式設定②
	5	配布資料、ノートの変更①
	6	配布資料、ノートの変更②
	7	配布資料、ノートの変更③
	8	スライドの並び替え、グループ化①
	9	スライドの並び替え、グループ化②
	10	スライドの並び替え、グループ化③
	11	オプションの変更①
	12	オプションの変更②
	13	オプションの変更③
	14	スライドショーの設定、実行①
	15	スライドショーの設定、実行②
	16	スライドショーの設定、実行③
	17	テキストの挿入、書式設定①
	18	テキストの挿入、書式設定②
	19	テキストの挿入、書式設定③
	20	図形・テキストボックスの挿入・書式設定①
	21	図形・テキストボックスの挿入・書式設定②
	22	図形・テキストボックスの挿入・書式設定③
	23	図の挿入、書式設定①
	24	図の挿入、書式設定②
	25	図の挿入、書式設定③
	26	図の挿入、書式設定④
	27	図形の並び替え、グループ化①
	28	図形の並び替え、グループ化②
	29	図形の並び替え、グループ化③
	30	図形の並び替え、グループ化④
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	43
授業科目	Power Point応用
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS PowerPointレベルの操作を習得する
教科書	テキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 表の挿入、設定</li> <li>2 グラフの挿入、書式設定①</li> <li>3 グラフの挿入、書式設定②</li> <li>4 SmartArtの挿入、書式設定①</li> <li>5 SmartArtの挿入、書式設定②</li> <li>6 メディアの挿入、管理①</li> <li>7 メディアの挿入、管理②</li> <li>8 画面切り替えの設定①</li> <li>9 画面切り替えの設定②</li> <li>10 アニメーションの設定①</li> <li>11 アニメーションの設定②</li> <li>12 複数のコンテンツの結合①</li> <li>13 複数のコンテンツの結合②</li> <li>14 プレゼンテーションの保護、共有①</li> <li>15 プレゼンテーションの保護、共有②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	44
授業科目	パソコン実習 I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	パソコンでの演習を通して操作方法を学ぶ
授業の進め方	テキスト、配布プリントを使用して実践力を養う
達成目標	卒業後必要となる知識・技術を身につける
教科書	オリジナルテキスト、配布プリント
特記	
授業計画	1 パソコンの基本的操作とインターネットの利用法、ネチケット 2 文書の作成と管理① 3 文書の作成と管理② 4 一般的なビジネス文書の作成① 5 一般的なビジネス文書の作成② 6 一般的なビジネス文書の作成③ 7 シンプルなレポートや報告書の作成① 8 シンプルなレポートや報告書の作成② 9 シンプルなレポートや報告書の作成③ 10 ビジネス文書の作成方法の復習① 11 ビジネス文書の作成方法の復習② 12 ビジネス文書の作成方法の復習③ 13 広報物の作成・活用方法① 14 広報物の作成・活用方法② 15 広報物の作成・活用方法③
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出により評価する
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	45
授業科目	パソコン実習Ⅱ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	パソコンでの演習を通して操作方法を学ぶ
授業の進め方	テキスト、配布プリントを使用して実践力を養う
達成目標	卒業後必要となる知識・技術を身につける
教科書	オリジナルテキスト、配布プリント
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 イラストや図形を使ったビジュアルな文書の作成①</li> <li>2 イラストや図形を使ったビジュアルな文書の作成②</li> <li>3 イラストや図形を使ったビジュアルな文書の作成③</li> <li>4 イラストや図形を使ったビジュアルな文書の作成④</li> <li>5 写真の挿入や加工方法①</li> <li>6 写真の挿入や加工方法②</li> <li>7 写真の挿入や加工方法③</li> <li>8 写真の挿入や加工方法④</li> <li>9 画像の編集方法①</li> <li>10 画像の編集方法②</li> <li>11 画像の編集方法③</li> <li>12 画像の編集方法④</li> <li>13 広報物の作成・活用方法①</li> <li>14 広報物の作成・活用方法②</li> <li>15 広報物の作成・活用方法③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出により評価する
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	46
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	面接の入退室および自己PRができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会人としての心構え</li> <li>2 職業理解</li> <li>3 働くとは</li> <li>4 自己分析①</li> <li>5 自己分析②</li> <li>6 自己分析③</li> <li>7 自己PR作成①</li> <li>8 自己PR作成②</li> <li>9 自己PR作成③</li> <li>10 業界研究①</li> <li>11 業界研究②</li> <li>12 業界研究③</li> <li>13 志望動機の作り方①</li> <li>14 志望動機の作り方②</li> <li>15 志望動機の作り方③</li> <li>16 面接の基本</li> <li>17 入退室の仕方</li> <li>18 スーツの着こなし、身嗜み確認</li> <li>19 書類送付方法</li> <li>20 ビジネス電話</li> <li>21 ビジネスメール</li> <li>22 模擬面接練習①</li> <li>23 模擬面接練習②</li> <li>24 模擬面接練習③</li> <li>25 面接質問項目①</li> <li>26 面接質問項目②</li> <li>27 面接質問項目③</li> <li>28 模擬面接試験</li> <li>29 内定後学習①</li> <li>30 内定後学習②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出により評価する
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	47	
授業科目	医療ビジネスマナー I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	基本的なビジネススキルの向上	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	身に付けた知識や技能を実際に仕事上で活かせるようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	挨拶（言葉遣い）の必要性
	2	基本的な言葉遣い
	3	クッション言葉
	4	状況に応じた言葉遣い
	5	笑顔・お辞儀
	6	基本的な電話応対
	7	応用的な電話応対
	8	電話応対演習①
	9	電話応対演習②
	10	電話応対演習③
	11	電話応対演習④
	12	電話応対演習⑤
	13	電話応対演習⑥
	14	電話応対演習⑦
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	48
授業科目	請求事務実践Ⅱ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための応用的な知識の向上
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務の応用を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 個別問題(初診・再診) 2 個別問題(入院・食事) 3 個別問題(医学管理・投薬) 4 個別問題(注射・処置) 5 個別問題(手術・麻酔) 6 個別問題(検査・画像) 7 レセプト演習 外来① 8 レセプト演習 入院① 9 レセプト演習 外来② 10 レセプト演習 入院② 11 レセプト演習 外来③ 12 レセプト演習 入院③ 13 レセプト演習 外来④ 14 レセプト演習 入院④ 15 効果測定(外来・入院)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	



## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	49
授業科目	社会保険基礎論
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	保険の基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	医療現場における様々な保険知識の理解をする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 医療保険について① 2 医療保険について② 3 後期高齢者医療制度① 4 後期高齢者医療制度② 5 公費① 6 公費② 7 介護保険① 8 介護保険② 9 自動車損害賠償保障法① 10 自動車損害賠償保障法② 11 労働者災害補償保険法① 12 労働者災害補償保険法② 13 レセプト点検・総括① 14 レセプト点検・総括② 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	50
授業科目	医学知識
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	病院受付でも患者対応できるように医学的な基礎的知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	医学の基礎を理解する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 生活習慣病・脂質異常症 2 高血圧症 3 動脈硬化症 4 狭心症・心筋梗塞 5 脳梗塞・脳出血 6 クモ膜下出血・感冒症候群 7 扁桃炎 8 肺炎・気管支炎 9 胃炎 10 胃・十二指腸潰瘍 11 胃癌 12 肝炎 13 肝硬変・肝癌 14 胆石症・膵炎 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	51
授業科目	病院実習Ⅳ
実務家教員授業	授業担当者：各医療機関における実習指導者 実務経験及び授業との関連性：患者及び医療スタッフとの接触を通じた医療現場の実態を体験する実践的な教育により、医療事務員の基本的態度や対応に必要な基本的技術を身につけさせる
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	一医療人になるために患者対応から事務的な仕事まですべてを学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	本入社までにスムーズに働けるようになること
教科書	
特記	就職先の現役医療事務員から入社後に必要な知識、技能を学ぶ
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現場実習（初・再診受付）①</li> <li>2 現場実習（初・再診受付）②</li> <li>3 現場実習（初・再診受付）③</li> <li>4 現場実習（初・再診受付）④</li> <li>5 現場実習（初・再診受付）⑤</li> <li>6 現場実習（医事課業務）①</li> <li>7 現場実習（医事課業務）②</li> <li>8 現場実習（医事課業務）③</li> <li>9 現場実習（医事課業務）④</li> <li>10 現場実習（医事課業務）⑤</li> <li>11 現場実習（外来クラーク）①</li> <li>12 現場実習（外来クラーク）②</li> <li>13 現場実習（外来クラーク）③</li> <li>14 現場実習（外来クラーク）④</li> <li>15 現場実習（外来クラーク）⑤</li> <li>16 現場実習（病棟クラーク）①</li> <li>17 現場実習（病棟クラーク）②</li> <li>18 現場実習（病棟クラーク）③</li> <li>19 現場実習（病棟クラーク）④</li> <li>20 現場実習（病棟クラーク）⑤</li> <li>21 現場実習（会計受付）①</li> <li>22 現場実習（会計受付）②</li> <li>23 現場実習（会計受付）③</li> <li>24 現場実習（会計受付）④</li> <li>25 現場実習（会計受付）⑤</li> <li>26 現場実習（看護助手）①</li> <li>27 現場実習（看護助手）②</li> <li>28 現場実習（看護助手）③</li> <li>29 現場実習（看護助手）④</li> <li>30 現場実習（看護助手）⑤</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	施設評価と日誌、取り組む姿勢により評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	52
授業科目	病院実習V
実務家教員授業	授業担当者：各医療機関における実習指導者 実務経験及び授業との関連性：患者及び医療スタッフとの接触を通じた医療現場の実態を体験する実践的な教育により、医療事務員の基本的態度や対応に必要な基本的技術を身につけさせる
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	一医療人になるために患者対応から事務的な仕事まですべてを学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	本入社までにスムーズに働けるようになること
教科書	
特記	就職先の現役医療事務員から入社後に必要な知識、技能を学ぶ
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現場実習（初・再診受付）①</li> <li>2 現場実習（初・再診受付）②</li> <li>3 現場実習（初・再診受付）③</li> <li>4 現場実習（初・再診受付）④</li> <li>5 現場実習（初・再診受付）⑤</li> <li>6 現場実習（医事課業務）①</li> <li>7 現場実習（医事課業務）②</li> <li>8 現場実習（医事課業務）③</li> <li>9 現場実習（医事課業務）④</li> <li>10 現場実習（医事課業務）⑤</li> <li>11 現場実習（外来クラーク）①</li> <li>12 現場実習（外来クラーク）②</li> <li>13 現場実習（外来クラーク）③</li> <li>14 現場実習（外来クラーク）④</li> <li>15 現場実習（外来クラーク）⑤</li> <li>16 現場実習（病棟クラーク）①</li> <li>17 現場実習（病棟クラーク）②</li> <li>18 現場実習（病棟クラーク）③</li> <li>19 現場実習（病棟クラーク）④</li> <li>20 現場実習（病棟クラーク）⑤</li> <li>21 現場実習（会計受付）①</li> <li>22 現場実習（会計受付）②</li> <li>23 現場実習（会計受付）③</li> <li>24 現場実習（会計受付）④</li> <li>25 現場実習（会計受付）⑤</li> <li>26 現場実習（看護助手）①</li> <li>27 現場実習（看護助手）②</li> <li>28 現場実習（看護助手）③</li> <li>29 現場実習（看護助手）④</li> <li>30 現場実習（看護助手）⑤</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	施設評価と日誌、取り組む姿勢により評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	53
授業科目	病院実習Ⅵ
実務家教員授業	授業担当者：各医療機関における実習指導者
	実務経験及び授業との関連性：患者及び医療スタッフとの接触を通じた医療現場の実態を体験する実践的な教育により、医療事務員の基本的態度や対応に必要な基本的技術を身につけさせる
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	一医療人になるために患者対応から事務的な仕事まですべてを学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	本入社までにスムーズに働けるようになること
教科書	
特記	就職先の現役医療事務員から入社後に必要な知識、技能を学ぶ
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現場実習（初・再診受付）①</li> <li>2 現場実習（初・再診受付）②</li> <li>3 現場実習（初・再診受付）③</li> <li>4 現場実習（初・再診受付）④</li> <li>5 現場実習（初・再診受付）⑤</li> <li>6 現場実習（医事課業務）①</li> <li>7 現場実習（医事課業務）②</li> <li>8 現場実習（医事課業務）③</li> <li>9 現場実習（医事課業務）④</li> <li>10 現場実習（医事課業務）⑤</li> <li>11 現場実習（会計受付）①</li> <li>12 現場実習（会計受付）②</li> <li>13 現場実習（会計受付）③</li> <li>14 現場実習（会計受付）④</li> <li>15 現場実習（会計受付）⑤</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	施設評価と日誌、取り組む姿勢により評価
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	54
授業科目	病院実習Ⅶ
実務家教員授業	授業担当者：各医療機関における実習指導者 実務経験及び授業との関連性：患者及び医療スタッフとの接触を通じた医療現場の実態を体験する実践的な教育により、医療事務員の基本的態度や対応に必要な基本的技術を身につけさせる
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	一医療人になるために患者対応から事務的な仕事まですべてを学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	本入社までにスムーズに働けるようになること
教科書	
特記	就職先の現役医療事務員から入社後に必要な知識、技能を学ぶ
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現場実習（初・再診受付）①</li> <li>2 現場実習（初・再診受付）②</li> <li>3 現場実習（初・再診受付）③</li> <li>4 現場実習（初・再診受付）④</li> <li>5 現場実習（初・再診受付）⑤</li> <li>6 現場実習（医事課業務）①</li> <li>7 現場実習（医事課業務）②</li> <li>8 現場実習（医事課業務）③</li> <li>9 現場実習（医事課業務）④</li> <li>10 現場実習（医事課業務）⑤</li> <li>11 現場実習（外来クラーク）①</li> <li>12 現場実習（外来クラーク）②</li> <li>13 現場実習（外来クラーク）③</li> <li>14 現場実習（外来クラーク）④</li> <li>15 現場実習（外来クラーク）⑤</li> <li>16 現場実習（病棟クラーク）①</li> <li>17 現場実習（病棟クラーク）②</li> <li>18 現場実習（病棟クラーク）③</li> <li>19 現場実習（病棟クラーク）④</li> <li>20 現場実習（病棟クラーク）⑤</li> <li>21 現場実習（会計受付）①</li> <li>22 現場実習（会計受付）②</li> <li>23 現場実習（会計受付）③</li> <li>24 現場実習（会計受付）④</li> <li>25 現場実習（会計受付）⑤</li> <li>26 現場実習（看護助手）①</li> <li>27 現場実習（看護助手）②</li> <li>28 現場実習（看護助手）③</li> <li>29 現場実習（看護助手）④</li> <li>30 現場実習（看護助手）⑤</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	施設評価と日誌、取り組む姿勢により評価
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	55
授業科目	施設実習Ⅴ
実務家教員授業	授業担当者：各施設における実習指導者 実務経験及び授業との関連性：利用者及び施設スタッフとの接触を通じた福祉施設現場の実態を体験する実践的な教育により、施設職員の基本的態度や応対に必要な基本的技術を身につけさせる
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	施設職員として必要な基礎知識や基礎技術を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基に実践的な知識や技術を学ぶ
達成目標	施設内で行う施設職員の様々な業務内容を理解し、実践できるようにする
教科書	実習の記録と指導案、実習日誌
特記	実務家教員は、保険医療機関又は福祉施設等で勤務している現役の職員
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現場実習（オリエンテーション）①</li> <li>2 現場実習（オリエンテーション）②</li> <li>3 現場実習（見学・観察）①</li> <li>4 現場実習（見学・観察）②</li> <li>5 現場実習（見学・観察）③</li> <li>6 現場実習（見学・観察）④</li> <li>7 現場実習（見学・観察）⑤</li> <li>8 現場実習（見学・観察）⑥</li> <li>9 現場実習（見学・観察）⑦</li> <li>10 現場実習（見学・観察）⑧</li> <li>11 現場実習（参加体験）①</li> <li>12 現場実習（参加体験）②</li> <li>13 現場実習（参加体験）③</li> <li>14 現場実習（参加体験）④</li> <li>15 現場実習（参加体験）⑤</li> <li>16 現場実習（参加体験）⑥</li> <li>17 現場実習（参加体験）⑦</li> <li>18 現場実習（参加体験）⑧</li> <li>19 現場実習（参加体験）⑨</li> <li>20 現場実習（参加体験）⑩</li> <li>21 現場実習（参加体験）⑪</li> <li>22 現場実習（参加体験）⑫</li> <li>23 現場実習（部分実習）①</li> <li>24 現場実習（部分実習）②</li> <li>25 現場実習（部分実習）③</li> <li>26 現場実習（部分実習）④</li> <li>27 現場実習（部分実習）⑤</li> <li>28 現場実習（部分実習）⑥</li> <li>29 現場実習（部分実習）⑦</li> <li>30 現場実習（部分実習）⑧</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	実習内容・実習簿評価により評価する。
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	56
授業科目	施設実習VI
実務家教員授業	授業担当者：各施設における実習指導者 実務経験及び授業との関連性：利用者及び施設スタッフとの接触を通じた福祉施設現場の実態を体験する実践的な教育により、施設職員の基本的態度や応対に必要な基本的技術を身につけさせる
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	施設職員として必要な基礎知識や基礎技術を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基に実践的な知識や技術を学ぶ
達成目標	施設内で行う施設職員の様々な業務内容を理解し、実践できるようにする
教科書	実習の記録と指導案、実習日誌
特記	実務家教員は、保険医療機関又は福祉施設等で勤務している現役の職員
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現場実習（オリエンテーション）①</li> <li>2 現場実習（オリエンテーション）②</li> <li>3 現場実習（見学・観察）①</li> <li>4 現場実習（見学・観察）②</li> <li>5 現場実習（見学・観察）③</li> <li>6 現場実習（見学・観察）④</li> <li>7 現場実習（見学・観察）⑤</li> <li>8 現場実習（見学・観察）⑥</li> <li>9 現場実習（見学・観察）⑦</li> <li>10 現場実習（見学・観察）⑧</li> <li>11 現場実習（参加体験）①</li> <li>12 現場実習（参加体験）②</li> <li>13 現場実習（参加体験）③</li> <li>14 現場実習（参加体験）④</li> <li>15 現場実習（参加体験）⑤</li> <li>16 現場実習（参加体験）⑥</li> <li>17 現場実習（参加体験）⑦</li> <li>18 現場実習（参加体験）⑧</li> <li>19 現場実習（参加体験）⑨</li> <li>20 現場実習（参加体験）⑩</li> <li>21 現場実習（参加体験）⑪</li> <li>22 現場実習（参加体験）⑫</li> <li>23 現場実習（部分実習）①</li> <li>24 現場実習（部分実習）②</li> <li>25 現場実習（部分実習）③</li> <li>26 現場実習（部分実習）④</li> <li>27 現場実習（部分実習）⑤</li> <li>28 現場実習（部分実習）⑥</li> <li>29 現場実習（部分実習）⑦</li> <li>30 現場実習（部分実習）⑧</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	実習内容・実習簿評価により評価する。
備考	



## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	57
授業科目	医学と疾病
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	人体の基本的な仕組みや働き及び疾病について理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	人体構造の基礎と子どものかかりやすい疾病を理解する
教科書	子どもの健康と安全、厚生労働省が発信する関連ガイドライン
特記	
授業計画	1 主な怪我に関して 2 怪我の予防① 3 怪我の予防② 4 怪我の予防③ 5 怪我の予防④ 6 怪我の予防⑤ 7 主な疾病に関して 8 主な疾病と対応① 9 主な疾病と対応② 10 主な疾病と対応③ 11 主な疾病と対応④ 12 主な疾病と対応⑤ 13 主な疾病と対応⑥ 14 主な疾病と対応⑦ 15 試験およびまとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	試験により評価する
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	58
授業科目	小児援助技術 I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	乳児、幼児とのかかわり方を演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	子どもの個別対応方法を身につける
教科書	保育所保育指針、子どもの発達理解と援助
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 保育における子どもの理解</li> <li>2 表現演習①</li> <li>3 子どもに対する関わりと共感的理解</li> <li>4 表現演習②</li> <li>5 子どもの生活や遊び</li> <li>6 表現演習③</li> <li>7 保育の人的環境としての保育者と子どもの発達</li> <li>8 表現演習④</li> <li>9 子ども相互の関わりと関係づくり</li> <li>10 表現演習⑤</li> <li>11 集団における経験と育ち</li> <li>12 個別援助①</li> <li>13 発達における葛藤やつまずき</li> <li>14 個別援助②</li> <li>15 保育の環境の理解と構成</li> <li>16 個別援助③</li> <li>17 環境の変化や移行</li> <li>18 個別援助④</li> <li>19 子ども理解のための観察・記録と省察・評価</li> <li>20 個別援助⑤</li> <li>21 子ども理解のための職員間の対話</li> <li>22 個別援助⑥</li> <li>23 子ども理解のための保護者との情報共有</li> <li>24 個別援助⑦</li> <li>25 発達の課題に応じた援助と関わり</li> <li>26 個別援助⑧</li> <li>27 特別な配慮を要する子どもの理解と援助</li> <li>28 個別援助⑨</li> <li>29 発達の連続性と就学への支援</li> <li>30 調査研究</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出により評価する
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	59
授業科目	小児援助技術Ⅱ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	学んだ知識を基に、自ら乳児、幼児とのかかわり方を考える
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	自ら対応方法の計画を立て対応方法を身につける
教科書	保育所保育指針、子どもの発達理解と援助
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 子ども理解と保育のつながり</li> <li>2 子どもの活動内容①</li> <li>3 子どもの活動内容②</li> <li>4 子どもの活動内容③</li> <li>5 場面を想定した保育の活動内容の実践①</li> <li>6 場面を想定した保育の活動内容の実践②</li> <li>7 場面を想定した保育の活動内容の実践③</li> <li>8 指導案の作成①</li> <li>9 指導案の作成②</li> <li>10 指導案の作成③</li> <li>11 指導案の作成④</li> <li>12 指導案の作成⑤</li> <li>13 指導案の作成⑥</li> <li>14 指導案の作成⑦</li> <li>15 指導案の作成⑧</li> <li>16 指導案に基づく実技①</li> <li>17 指導案に基づく実技②</li> <li>18 指導案に基づく実技③</li> <li>19 指導案に基づく実技④</li> <li>20 指導案に基づく実技⑤</li> <li>21 指導案に基づく実技⑥</li> <li>22 指導案に基づく実技⑦</li> <li>23 指導案に基づく実技⑧</li> <li>24 指導案に基づく実技⑨</li> <li>25 指導案に基づく実技⑩</li> <li>26 指導案に基づく実技⑪</li> <li>27 指導案に基づく実技⑫</li> <li>28 指導案に基づく実技⑬</li> <li>29 指導案に基づく実技⑭</li> <li>30 実技試験</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	試験により評価する
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	60
授業科目	実習事前指導
実務家教員授業	吉住翔平・木村正剛
	実務経験及び授業との関連性：福祉施設での実務経験が5年以上ある職員により施設実習を円滑に進めるための知識・技術・態度についての実践教育を行う。
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	施設実習を円滑に進めるための知識・技術・態度について学ぶ
授業の進め方	グループワークと実技演習
達成目標	施設内で行う施設職員の様々な職業内容を理解する
教科書	実習の記録と指導案、保育専門職と保育実践、配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 実習の概要・意義・目的の確認</li> <li>2 実習先研究①</li> <li>3 実習先研究②</li> <li>4 実習先研究③</li> <li>5 実習生としての心構えの確認</li> <li>6 実習生マナー①</li> <li>7 実習生マナー②</li> <li>8 実習生マナー③</li> <li>9 実習計画について</li> <li>10 実習計画に基づく保育実践</li> <li>11 考察について</li> <li>12 考察について</li> <li>13 日誌・記録の取り方①</li> <li>14 日誌・記録の取り方②</li> <li>15 日誌・記録の取り方③</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出により評価する
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	61
授業科目	小児援助実践 I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
15	乳児、幼児とのかかわり方を演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	子どもの個別対応方法を身につける
教科書	保育専門職と保育実践
特記	
授業計画	1 乳児・幼児研究① 2 乳児・幼児研究② 3 乳児・幼児研究③ 4 乳児・幼児研究④ 5 乳児とのかかわり① 6 乳児とのかかわり② 7 幼児とのかかわり① 8 幼児とのかかわり② 9 乳児に合わせた対応計画の作成① 10 乳児に合わせた対応計画の作成② 11 幼児に合わせた対応計画の作成① 12 幼児に合わせた対応計画の作成② 13 乳児・幼児の対応計画に基づく演習① 14 乳児・幼児の対応計画に基づく演習② 15 乳児・幼児の対応計画に基づく演習③
成績評価方法 (試験実施方法)	試験により評価する
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	62
授業科目	小児援助実践Ⅱ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	乳児、幼児とのかかわり方を演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	子どもの集団対応方法を身につける
教科書	保育専門職と保育実践
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 子どもに対する共感的理解について①</li> <li>2 子どもに対する共感的理解について②</li> <li>3 子どもに対する共感的理解について③</li> <li>4 子どもを理解する視点を考える①</li> <li>5 子どもを理解する視点を考える②</li> <li>6 子どもを理解する視点を考える③</li> <li>7 子ども相互の関わりと関係づくりを築くための実践的な働きかけ①</li> <li>8 子ども相互の関わりと関係づくりを築くための実践的な働きかけ②</li> <li>9 子ども相互の関わりと関係づくりを築くための実践的な働きかけ③</li> <li>10 特別な配慮を要する子どもの理解と援助について①</li> <li>11 特別な配慮を要する子どもの理解と援助について②</li> <li>12 特別な配慮を要する子どもの理解と援助について③</li> <li>13 子育て支援・家庭支援における子どもの理解①</li> <li>14 子育て支援・家庭支援における子どもの理解②</li> <li>15 子育て支援・家庭支援における子どもの理解③</li> <li>16 個別・集団演習①</li> <li>17 個別・集団演習②</li> <li>18 個別・集団演習③</li> <li>19 個別・集団演習④</li> <li>20 個別・集団演習⑤</li> <li>21 個別・集団演習⑥</li> <li>22 個別・集団演習⑦</li> <li>23 個別・集団演習⑧</li> <li>24 個別・集団演習⑨</li> <li>25 個別・集団演習⑩</li> <li>26 個別・集団演習⑪</li> <li>27 個別・集団演習⑫</li> <li>28 個別・集団演習⑬</li> <li>29 個別・集団演習⑭</li> <li>30 個別・集団演習⑮</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出により評価する
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	63
授業科目	小児援助実践Ⅲ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	環境ごとの乳児、幼児とのかかわり方を演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	環境の特徴を生かした乳児・幼児のかかわり方を身につける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 乳児、幼児に必要な環境構成</li> <li>2 健康に配慮した環境とは</li> <li>3 安心・安全な環境とは</li> <li>4 異年齢の集団に対する援助実践</li> <li>5 屋内での援助実践①</li> <li>6 屋内での援助実践②</li> <li>7 屋内での援助実践③</li> <li>8 屋内での援助実践④</li> <li>9 屋外での援助実践①</li> <li>10 屋外での援助実践②</li> <li>11 屋外での援助実践③</li> <li>12 屋外での援助実践④</li> <li>13 屋外での援助実践⑤</li> <li>14 季節を考慮した援助実践①</li> <li>15 季節を考慮した援助実践②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出により評価する
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	64
授業科目	小児援助実践Ⅳ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	自ら設定した対象に対し、援助計画の立案、実践の流れを演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	対象の研究、援助計画の立案、実践技術を一連の流れを通して身につける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 援助計画について</li> <li>2 対象に合わせた援助計画の作成①</li> <li>3 対象に合わせた援助計画の作成②</li> <li>4 対象に合わせた援助計画の作成③</li> <li>5 対象に合わせた援助計画の作成④</li> <li>6 対象に合わせた援助計画の作成⑤</li> <li>7 対象に合わせた援助実践①</li> <li>8 対象に合わせた援助実践②</li> <li>9 対象に合わせた援助実践③</li> <li>10 対象に合わせた援助実践④</li> <li>11 対象に合わせた援助実践⑤</li> <li>12 対象に合わせた援助実践⑥</li> <li>13 対象に合わせた援助実践⑦</li> <li>14 対象に合わせた援助実践⑧</li> <li>15 対象に合わせた援助実践⑨</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	試験により評価する
備考	



## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	65
授業科目	小児援助実践Ⅴ
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	遊びを通して乳児、幼児とのかかわり方を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	安全、環境構成など様々な配慮点を身に付ける
教科書	楽しさを通した心の元気づくり
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 乳児、幼児に必要な環境構成</li> <li>2 健康に配慮した環境とは</li> <li>3 安心・安全な環境とは</li> <li>4 異年齢の集団に対する援助実践</li> <li>5 対象に合わせた援助計画の作成①</li> <li>6 対象に合わせた援助計画の作成②</li> <li>7 対象に合わせた援助計画の作成③</li> <li>8 対象に合わせた援助計画の作成④</li> <li>9 対象に合わせた援助計画の作成⑤</li> <li>10 対象に合わせた援助実践①</li> <li>11 対象に合わせた援助実践②</li> <li>12 対象に合わせた援助実践③</li> <li>13 対象に合わせた援助実践④</li> <li>14 対象に合わせた援助実践⑤</li> <li>15 対象に合わせた援助実践⑥</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	試験により評価する
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	66
授業科目	小児援助実践VI
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	遊びを通して乳児、幼児とのかかわり方を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	運動の効果、楽しさを学ぶ
教科書	楽しさを通した心の元気づくり
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 援助計画について</li> <li>2 対象に合わせた援助計画の作成①</li> <li>3 対象に合わせた援助計画の作成②</li> <li>4 対象に合わせた援助計画の作成③</li> <li>5 対象に合わせた援助計画の作成④</li> <li>6 対象に合わせた援助計画の作成⑤</li> <li>7 対象に合わせた援助実践①</li> <li>8 対象に合わせた援助実践②</li> <li>9 対象に合わせた援助実践③</li> <li>10 対象に合わせた援助実践④</li> <li>11 対象に合わせた援助実践⑤</li> <li>12 対象に合わせた援助実践⑥</li> <li>13 対象に合わせた援助実践⑦</li> <li>14 対象に合わせた援助実践⑧</li> <li>15 対象に合わせた援助実践⑨</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	試験により評価する
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	67
授業科目	音楽ケアの基礎 I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	音楽がもつ様々な効果と音楽教育の重要性を学ぶ
授業の進め方	講義と実技を通して学ぶ
達成目標	音楽ケアの基礎を身につける
教科書	ダルクローズシステムによるリトミック、リズム練習とソルフェージュ1
特記	
授業計画	1 音楽の重要性 2 音楽の効果① 3 音楽の効果② 4 童謡を使った音楽ケア実践① 5 童謡を使った音楽ケア実践② 6 童謡を使った音楽ケア実践③ 7 童謡を使った音楽ケア実践④ 8 童謡を使った音楽ケア実践⑤ 9 童謡を使った音楽ケア実践⑥ 10 童謡を使った音楽ケア実践⑦ 11 童謡を使った音楽ケア実践⑧ 12 童謡を使った音楽ケア実践⑨ 13 童謡を使った音楽ケア実践⑩ 14 童謡を使った音楽ケア実践⑪ 15 童謡を使った音楽ケア実践⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	試験により評価する
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	68	
授業科目	音楽ケアの基礎Ⅱ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	音楽がもつ様々な効果や影響について学ぶ	
授業の進め方	講義と実技を通して学ぶ	
達成目標	子どもの前で実践できるようにする	
教科書	幼児のための音楽教育、配布プリント	
特記		
授業計画	1	音楽の重要性
	2	音楽の効果①
	3	音楽の効果②
	4	音楽ケアの実践①
	5	音楽ケアの実践②
	6	音楽ケアの実践③
	7	音楽ケアの実践④
	8	音楽ケアの実践⑤
	9	音楽ケアの実践⑥
	10	音楽ケアの実践⑦
	11	音楽ケアの実践⑧
	12	音楽ケアの実践⑨
	13	音楽ケアの実践⑩
	14	音楽ケアの実践⑪
	15	音楽ケアの実践⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	試験により評価する	
備考		

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	69
授業科目	音楽ケアの基礎Ⅲ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	音楽がもつ様々な効果と音楽教育の重要性を学ぶ
授業の進め方	講義と実技を通して学ぶ
達成目標	様々な音楽ケアを知る
教科書	ダルクローズシステムによるリトミック、リズム練習とソルフェージュ1
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 音楽が与える心理的影響①</li> <li>2 音楽が与える心理的影響②</li> <li>3 音楽と感情①</li> <li>4 音楽と感情②</li> <li>5 生活の中の様々な音</li> <li>6 音楽コミュニケーション①</li> <li>7 音楽コミュニケーション②</li> <li>8 音楽コミュニケーション③</li> <li>9 音楽コミュニケーション④</li> <li>10 音楽コミュニケーション⑤</li> <li>11 音楽コミュニケーション⑥</li> <li>12 楽器を活用した音楽ケア実践①</li> <li>13 楽器を活用した音楽ケア実践②</li> <li>14 楽器を活用した音楽ケア実践③</li> <li>15 楽器を活用した音楽ケア実践④</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	試験により評価する
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	70
授業科目	音楽ケアの基礎Ⅳ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	リズムや楽器を活用した音楽ケアを学ぶ
授業の進め方	講義と実技を通して学ぶ
達成目標	音楽ケアリーダーとして、実践できるようにする
教科書	ダルクローズシステムによるリトミック、リズム練習とソルフェージュ1
特記	
授業計画	1 音とリズムと身体① 2 音とリズムと身体② 3 音とリズムと身体③ 4 音とリズムと身体④ 5 音とリズムと身体⑤ 6 様々な楽器を活用した音楽ケア① 7 様々な楽器を活用した音楽ケア② 8 様々な楽器を活用した音楽ケア③ 9 様々な楽器を活用した音楽ケア④ 10 様々な楽器を活用した音楽ケア⑤ 11 様々な楽器を活用した音楽ケア⑥ 12 様々な楽器を活用した音楽ケア⑦ 13 様々な楽器を活用した音楽ケア⑧ 14 様々な楽器を活用した音楽ケア⑨ 15 様々な楽器を活用した音楽ケア⑨
成績評価方法 (試験実施方法)	試験により評価する
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	71
授業科目	養護内容
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	養護を実践している施設の現状を理解し、そこで必要なスキルを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	広義の養護について全体像を把握する
教科書	社会的養護と障害児保育
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 養護とは①</li> <li>2 養護とは②</li> <li>3 社会的養護の理解と概念</li> <li>4 社会的養護施設の概要①</li> <li>5 社会的養護施設の概要②</li> <li>6 社会的養護施設の概要③</li> <li>7 家庭養護の概要①</li> <li>8 家庭養護の概要②</li> <li>9 施設養護の専門職①</li> <li>10 施設養護の専門職②</li> <li>11 日常生活支援とは①</li> <li>12 日常生活支援とは②</li> <li>13 治療的支援とは①</li> <li>14 治療的支援とは②</li> <li>15 自立支援とは①</li> <li>16 自立支援とは②</li> <li>17 専門職の連携①</li> <li>18 専門職の連携②</li> <li>19 地域医療・地域福祉・地域ネットワーク①</li> <li>20 地域医療・地域福祉・地域ネットワーク②</li> <li>21 社会資源①</li> <li>22 社会資源②</li> <li>23 地域の社会資源調査①</li> <li>24 地域の社会資源調査②</li> <li>25 地域の社会資源調査③</li> <li>26 地域の社会資源調査④</li> <li>27 地域の社会資源調査⑤</li> <li>28 地域の社会資源調査⑥</li> <li>29 調査結果発表①</li> <li>30 調査結果発表②</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出により評価する
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	72
授業科目	養護内容Ⅱ
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	様々な角度で養護を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	広義の養護について全体像を把握する
教科書	社会的養護と障害児保育
特記	
授業計画	1 養護について① 2 養護について② 3 養護について③ 4 医療と養護① 5 医療と養護② 6 医療と養護③ 7 心身の健康① 8 心身の健康② 9 心身の健康③ 10 生命の保持と情緒の安定① 11 生命の保持と情緒の安定② 12 生命の保持と情緒の安定③ 13 自立支援① 14 自立支援② 15 自立支援③
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出により評価する
備考	



## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	73
授業科目	養護内容Ⅲ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	養護を実践している施設の現状を理解し、そこで必要なスキルを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	成長の段階での養護について把握する
教科書	社会的養護と障害児保育
特記	
授業計画	1 小児の発達段階① 2 小児の発達段階② 3 小児の発達段階③ 4 小児の発達段階④ 5 小児の発達段階⑤ 6 小児の心理① 7 小児の心理② 8 小児の心理③ 9 小児の心理④ 10 小児の心理⑤ 11 地域医療・地域福祉の活用① 12 地域医療・地域福祉の活用② 13 地域医療・地域福祉の活用③ 14 地域医療・地域福祉の活用④ 15 地域医療・地域福祉の活用⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出により評価する
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	74
授業科目	相談支援法
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	相談援助が必要な方に対する支援方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相談支援に必要な知識、技術、支援方法を理解する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 相談支援の基本</li> <li>2 相談支援が必要な様々な場面</li> <li>3 相談支援に必要な技術①</li> <li>4 相談支援に必要な技術②</li> <li>5 相談支援に必要な技術③</li> <li>6 相談支援に必要な技術④</li> <li>7 DVの事例およびその保護者支援①</li> <li>8 DVの事例およびその保護者支援②</li> <li>9 DVの事例およびその保護者支援③</li> <li>10 障害受容の事例および保護者支援①</li> <li>11 障害受容の事例および保護者支援②</li> <li>12 障害受容の事例および保護者支援③</li> <li>13 個人面談について</li> <li>14 個人面談事例研究</li> <li>15 相談援助のまとめ</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出により評価する。
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	75	
授業科目	表現と言葉	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	保育所保育指針に示す5領域のうち「表現」について演習を通して学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う	
達成目標	対象年齢に合わせた言葉掛けやアプローチ方法を身につける	
教科書	保育所保育指針	
特記		
授業計画	1	表現とは
	2	5領域における表現①
	3	5領域における表現②
	4	素話①
	5	素話②
	6	素話③
	7	様々な表現①
	8	様々な表現②
	9	様々な表現③
	10	様々な表現④
	11	様々な表現⑤
	12	様々な表現⑥
	13	年齢に合わせた言葉掛け①
	14	年齢に合わせた言葉掛け②
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出により評価する。	
備考		

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	76
授業科目	障害児（者）援助論
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	障害児や障害者の支援方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	障害への理解と援助方法を理解する
教科書	社会的養護と障害児保育
特記	
授業計画	1 対象別にみた障害の理解① 2 対象別にみた障害の理解② 3 対象別にみた障害の理解③ 4 対象別にみた障害の理解④ 5 対象別にみた障害の理解⑤ 6 障害児（者）自立支援① 7 障害児（者）自立支援② 8 障害児（者）自立支援③ 9 事例研究① 10 事例研究② 11 事例研究③ 12 事例研究④ 13 支援者の理解① 14 支援者の理解② 15 障害児（者）福祉の今後の課題
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出により評価する
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	77
授業科目	卒業研究
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	個人・グループにて研究項目を選択し、研究を進めより知識を深める
授業の進め方	個人研究、グループ研究、全体発表
達成目標	卒業後必要となる知識・技術の理解を深める
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 卒業研究に関する学習の進め方</li> <li>2 研究テーマの理解</li> <li>3 研究テーマの決定</li> <li>4 個人・グループ研究①</li> <li>5 個人・グループ研究②</li> <li>6 個人・グループ研究③</li> <li>7 個人・グループ研究④</li> <li>8 個人・グループ研究⑤</li> <li>9 個人・グループ研究⑥</li> <li>10 個人・グループ研究⑦</li> <li>11 個人・グループ研究⑧</li> <li>12 個人・グループ研究⑨</li> <li>13 個人・グループ研究⑩</li> <li>14 個人・グループ研究⑪</li> <li>15 研究発表</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出により評価する
備考	

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	78
授業科目	卒業研究Ⅱ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	個人・グループにて研究項目を選択し、研究を進めより知識を深める
授業の進め方	個人研究、グループ研究、全体発表
達成目標	卒業後必要となる知識・技術の理解を深める
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 卒業研究に関する学習の進め方</li> <li>2 研究テーマの理解</li> <li>3 研究テーマの決定</li> <li>4 個人・グループ研究①</li> <li>5 個人・グループ研究②</li> <li>6 個人・グループ研究③</li> <li>7 個人・グループ研究④</li> <li>8 個人・グループ研究⑤</li> <li>9 個人・グループ研究⑥</li> <li>10 個人・グループ研究⑦</li> <li>11 個人・グループ研究⑧</li> <li>12 個人・グループ研究⑨</li> <li>13 個人・グループ研究⑩</li> <li>14 個人・グループ研究⑪</li> <li>15 研究発表</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出により評価する
備考	

## 授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	79	
授業科目	一般教養 I	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療福祉専攻科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	日本国憲法や各種法律についての学びを深める。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	一般教養として社会に出た際に知っておくべき憲法と法律の知識を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	日本国憲法の内容、分類
	2	日本国憲法の特徴
	3	人権と公共の福祉
	4	基本的人権①
	5	基本的人権②
	6	労働に関する法律①
	7	労働に関する法律②
	8	福祉に関する法律①
	9	福祉に関する法律②
	10	教育に関する法律
	11	医療に関する法律
	12	消費者保護に関する法律
	13	著作権法
	14	公職選挙法（選挙年齢の引き下げについて）
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	課題提出により評価する	
備考		

## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	80
授業科目	接遇論マナー実践
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	基本的なビジネススキルの向上
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	身に着けた知識や技能を実際に仕事上で活かせるようになる
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 挨拶（言葉遣い）の必要性</li> <li>2 基本的な言葉遣いとクッション言葉</li> <li>3 基本的な電話応対</li> <li>4 応用的な電話応対</li> <li>5 電話応対演習①</li> <li>6 電話応対演習②</li> <li>7 電話応対演習③</li> <li>8 文書作成の基本</li> <li>9 保育現場で使われる漢字①</li> <li>10 保育現場で使われる漢字②</li> <li>11 保育現場で使われる漢字③</li> <li>12 ビジネス文書で使われる漢字①</li> <li>13 ビジネス文書で使われる漢字②</li> <li>14 ビジネス文書で使われる漢字③</li> <li>15 試験</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	試験により評価する
備考	



## 授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	81
授業科目	ビジネスマナー実践
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療福祉専攻科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	業界、企業、施設に必要なマナーを演習を通して学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、グループワークや実践トレーニングを通して実践力を養う
達成目標	社会人としての意識の向上を図る
教科書	オリジナルテキスト・配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会人と学生との違い（働くとは）</li> <li>2 仕事選びの基準</li> <li>3 業界研究</li> <li>4 企業研究①</li> <li>5 企業研究②</li> <li>6 企業研究③</li> <li>7 企業研究④</li> <li>8 様々な社会保障について</li> <li>9 他業種との連携①</li> <li>10 他業種との連携②</li> <li>11 敬語の使い方①</li> <li>12 敬語の使い方②</li> <li>13 敬語の使い方③</li> <li>14 敬語の使い方④</li> <li>15 試験</li> </ol>
成績評価方法 (試験実施方法)	試験により評価する
備考	